

# Fly High

大志をいだけ！

国立市立国立第八小学校 研究便り  
校長 堀越 裕之  
No. 1 平成27年5月18日  
国立第八小学校 研究部

『Fly High 大志をいだけ！』は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をお知らせしていきます。

## 【今年度の研究について】

文部科学省の国立教育政策研究所が、このほど、子供たちが、これからの社会に求められる資質・能力を「21世紀型能力」と名付けて、授業の中で具体的に育てるカリキュラムをつくるよう提言しています。

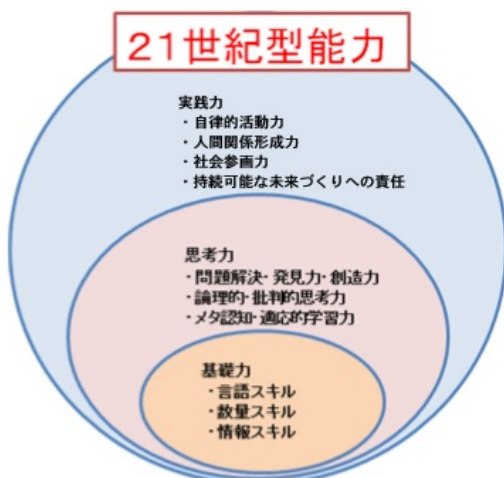


図 21世紀型能力

これからの時代には、知識をたくさん覚えているだけでは通用しません。身に付けた知識を活用して問題を発見し、正解のない問いに対して、自分なりに解決策を見いだすことが、いっそう重視されます。そのためには「基礎力」(言語スキル・数量スキル・情報スキル)を基にしながら「思考力」(考える力)を駆使し、「実践力」につなげることが必要であると言われています〔左図参照〕。

本校では、昨年度から理科・生活科の教科を中心に研究テーマを「科学的な思考力・判断力・表現力を育てるための指導法」と設定し、研究を深めています。昨年度の成果として、理科学習での問題解決の過程を8つのプロセス(「クローバープロセス」)でまとめ、繰り返し指導すること

で、子供たちが見通しをもって課題に取り組めるようになったり、子供たちの思考をもとにクラス編成したりすることで、学習に対する関心・意欲や思考の高まりを促したりすることができました。

そこで、今年度はさらに次の4つを手立てとして研究を続け、21世紀型能力である「実践力」につながる「思考力」を育てていきたいと考えています。

## 今年度の研究の手立て

1. 「クローバープロセス」を使って、問題解決学習を繰り返し展開する。
2. 思考が働く場面(仮説設定場面・考察場面など)で、全体の練り上げに向けた話し合い活動を設定する。
3. 学習の中で、見つけたきまりや知識を活用する発展的な学習課題を設定する。
4. 身の回りの問題を解決する活動を設定するために、単元指導計画を工夫する。

## 研究授業の見どころ

### 6年生 『物の燃え方と空気』 5月26日(火)午後1:30~

今年度初めての研究授業で、6年生は発展的な内容に挑戦します。内容については現段階でいくつか候補がありますが、どれもおもしろい内容になりそうです。授業の中で子供から出た疑問をもとにできた問題です。これまでに培ってきた「思考力」を「実践力」につなげる良いチャンスになりそうです。当日はグループを2つに分けて、選択したテーマを探究していきます。